

平和運動センター情報

「戦争法案を通すな」

富山でも廃案呼び掛け

8/31 北中

県平和運動センター（山崎彰議長）は30日、富山市のグランドプラザ前で、安全保障関連法案の廃案を訴える街頭宣伝を行い、市民約50人が参加した。同センターによると、JR富山駅前や富岩運河環水公園、立山、上市両町でも法案反対の活動が繰り広げられた。

県内ではこの日計約200人が声を張り上げた。市民団体「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」が国会前で大規模な集会を開いたのに合わせて行った。

グランドプラザ前では山崎議長が「私たちの子どもや孫を戦争に行かせないために法案成立を阻止しよう」と呼び掛けた。社民党の岡崎信也県議、東篤党県連国民運動推進本部長も駆け付けた。参加者らは「戦争させない」「9条壊すな！」と書かれたメッセージボードを掲げた。



メッセージボードを掲げる参加者。グランドプラザ前



「法案が通れば戻れない」「子どもを戦争には行かせない」。安全保障関連法案に反対する十二万人の人々が国会周辺に集結した三十日、北陸をはじめ全国各地の街頭でも抗議行動が広がった。一人一人の小さな声は重なり、響き合い、大きなうねりとなり、廃案を迫った。10面参照

8/31 北中

反対 列島包む

全国一斉「NO」富山も
安保法案抗議活動



富山 富山県内では、富山市や立山町などで市民がデモを繰り広げ、集会で反対を叫んだ。富山市中心市街地、総曲輪のグランドプラザ前では県平和運動センターが呼びかけ、約五十人（主催者発表）が「戦争させない」9条壊すな！のカードを手にアピール。社民党の岡崎信也県議らが「戦争への国民の協力義務が書かれた法律が審議されている。戦争の歴史が繰り返される。一瞬に廃案にしよう」と訴えた。

（木許はるみ）



「9条壊すな！」「戦争させない」のカードを掲げる参加者。30日、富山市総曲輪のグランドプラザ前で

参議院で審議中の安全保障関連法案の廃案を求める市民らが30日、富山市中心部のグランドプラザ前で「戦争させない」「9条壊すな！」と書かれたカードを掲げて、道行く人々にアピールした。東京の国会議事堂周辺など各地で一斉に実施された街頭活動の一環で、市民団体「県平和運動センター」の呼びかけに約40人が集まった。午後2時に始まったアピール活動は強い雨のなか行われ、参加者は傘を差しながら、通りかかった買い物客や行き交う車に向けてカードを掲げていた。

（富山県）

一度通せば戻れない
自分で行動、力になりたい